

入庁してから一年の振り返り

北九州支部 北九州県土整備事務所 小川秀麗

1. 概要

入庁してからの振り返り

2. 本文

入庁してから気が付けばあっという間に一年が過ぎようとしています。いまでも辞令交付式で辞令を受け取った日を昨日のこのように思い出せます。

入庁して半年ほどは研修続きだった気がします。インプットすることが多く、本当にこの量の知識を自分が活用できる日が来るのかと思っていましたが、現在では社会人としての基本的なマナーをはじめ、研修で習ったなどと思う場面が多々あり、研修資料を読み返しながらか活用しています。

そんな仕事の中で、自分にとって苦手だと気付いたことが2つあります。1つ目は、人とのコミュニケーションです。特に電話対応にはなかなか慣れることができませんでした。声のみで相手の気持ちを汲み取りながら、自分が伝えたいこと、伝えなければならないことを伝えられているか、相手の話をきちんと理解できているか、様々なことを考えながらコミュニケーションをとることがとても難しかったです。電話が鳴ると少しドキドキしてしまうほどなかなか慣れずにいました。しかし、いつまでも苦手だと思っていれば今後苦労することになると思い、これも経験だと区切りをつけ積極的に電話に出るように意識しました。まだまだ、あたふたしてしまうことがありますが、随分苦手意識は減ったように思います。この経験から、今自分が、向いてない、出来ないと思っていることも経験を積んで引き出しを増やせば慣れていく、と前向きな気持ちを持つようになりました。

2つ目は、自分の考えを持つことです。

今もですが、入ってすぐのころは、提出された書類を、手引きを見ながら読み進めていくことがやっとだったり、言われたことのみを行うだけで精いっぱいだったりしていました。そんな中でも、工事をいくつか担当するようになり、徐々に仕事になれつつあるのかなと思っていました。しかし、自分が工事のことについて質問をされると何も答えられないことに気が付きました。自分が担当の工事なのに特に疑問点を考えることなく業務を進めていました。この反省点を活かして、今後は、まず自分で、疑問点がないか考え、どうすればその疑問を解決することができるのか、まで考えられるようになりたいです。

最後に、知識も経験もないまま監督員という立場に置かれることがとても怖かったですが、仕事について、先輩や上司の方々が、いつでも優しく教えてくださったおかげで、なんとか一年を迎えることができました。本当にありがとうございました。これからも、一分でも早く帰れるよう、仕事と真摯に向き合っていきたいと思います。



最後の最後に、かわいいグラブ浚渫船の見学写真を載せて終わります。読んでいただきありがとうございました。